

## 第11回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成24年3月16日（金） 18時30分～20時30分

2 場 所 千城台公民館 2階ホール

### 3 出席者

- (1) 委 員 18名 \*欠席 來住委員、山崎委員、児玉委員、酒井委員  
(2) 事務局 6名 \*教育委員会企画課 高須課長、国方課長補佐、白井主幹、加茂主査  
山崎主査補、安井主査補  
(3) 傍聴者 10名

### 4 報告・議題

- (1) 【報 告】 前回協議 および それ以降の経過について  
(2) 【議題1】 「千城台地区小学校の適正配置（統合等）の必要性」について  
(3) 【議題2】 今後の協議について  
(4) 【議題3】 次回協議会について

### 5 会議資料

資料1：「第10回千城台地区学校適正配置地元代表協議会」

資料2：『学校規模（概ね適正規模：12～24学級になる）』及び『学区の接続（飛び学区にならない）』から見て、妥当と考えられる統合の組み合わせ」

資料3：児童生徒の安全に関する対策

### 6 議事の概要

- (1) 【報 告】 前回の協議 および それ以降の経過について  
前回協議会での協議の内容および前回協議会以降の動きについて事務局が説明し、確認した。
- (2) 【議題1】 「千城台地区小学校の適正配置（統合等）の必要性」について  
委員から提示要望のあった「児童生徒の安全に関する対策」「統合に伴う学校経費」について事務局が説明を行った後、各委員から団体に話し合われた内容の報告を含めた意見が出され、協議を行った。その結果、「小学校の適正配置については必要である」ことが合意された。
- (3) 【議題2】 今後の協議について  
今後の協議について事務局から説明を行った後、協議を行った。協議の結果、引き続き小学校についての協議を進めることとし、中学校については協議の中で随時検討することが確認された。
- (4) 【議題3】 次回協議会について  
次回協議会の日時・場所等については、会長・副会長と相談のうえ、4月以降に各委員に通知することとした。

### 7 発言要旨

#### (1) 会長挨拶

小学校の卒業式等が行われるなど多忙の中をお集りいただき、感謝する。

いよいよ第11回目となり、協議が始まって2年が終わる。本日は、節目となる協議会としたい。各委員のコンセンサスをもって前に進みたいと考えるので、よろしくお願ひしたい。

## (2) 「千城台教育を考える会」から出された要望について

〈安部会長〉 2月24日にファックスで、3月12日には委員宛でのプリントを事務局に持参する形で、「千城台教育を考える会」から、会長と話し合いを行いたい旨の依頼があった。お手元の文書が3月12日のプリントである。このプリントにおいて「話し合いの要望事項」を挙げている。まず、事務局に読み上げてもらう。

〈事務局〉 「話し合いの要望事項」から以下について、読み上げる。

[会長との話し合いの承諾のお願い文]

話し合いの要望事項

昨年の12月1日 私たち「千城台教育を考える会」と教育委員会との話し合いで教育委員会から「現在話し合われているシミュレーションは『より具体的なたたき台を基に協議を行うために欲しい』という地元代表委員からの要望によるものであり、これから『学校を適正配置にすることで、千城台地区の教育環境がより良いものになり、教育の質がより充実するのか』を話し合うのだ」と説明をいただきました。

私たちもそのように理解していますので、そのように話し合いを進めていただきたいと思います。その際、私たち住民から出されている意見についても、ご協議していただくことをお願いします。

以上のような文書を提出し話し合いをお願いした結果、安部会長は「会うかどうかは、協議会で話し合って決める」ということを伺いました。そこで、地元代表委員の皆さんに、私たちとの話し合いを承諾して頂けるようお願いしたいのです。

私たちは、特別なことをお願いしているつもりはありません。第1回地元説明会で教育委員会は「地域コミュニティの方々とともに様々な課題について解決の方向で話し合っていくことが地元代表協議会の役割です」と説明しています。また、地元代表協議会の設立会議後の第1回協議会の議事要旨でも「学校適正配置は合意形成を基本として・・・様々な課題を取り上げて、十分に検討していただきたい」と述べています。

こうしたことから、私たち住民の意思も協議会に反映して協議して頂けるようお願いしたいのです。

ご理解いただき、会長との話し合いを承諾して頂けるように重ねてお願いします。

〈安部会長〉 このようなに要望してきている。1月に実施した面談は、協議会において委員各位から「千城台教育を考える会に申し入れてほしい」旨の要請があり、それを受けて協議会として面談した。

そこで、副会長とも相談した結果、「協議会で委員に諮った上で、協議会として回答すること」とした。各委員から意見をいただいた上で、対応について「千城台教育を考える会」に伝えたい。ご意見がある方はお願いしたい。

〈事務局〉 安部会長から説明があったが、「千城台教育を考える会」への対応についてご意見があればお願いしたい。

〈加瀬委員〉 この文面からは読み取れないが、具体的にどういう点を話し合いたいのか。

〈安部会長〉 1月に面談した時にも、具体的な説明は聞けなかった。

〈加瀬委員〉 「千城台教育を考える会」が考えるような話し合いになっていないということで、意見してきているのか。

〈安部会長〉 そういうことでもないようである。こちらも、何を要求してきているのか具体的に見えない部分が多い。

- 〈高野委員〉 自分たちの意見を取り入れないことに対して不満があるのであれば、意見を聞く場を設けても良いと思う。すべてシャットアウトするのはいかがなものか。
- 〈佐々木委員〉 この協議会においてもまだ具体的な話し合いに入っていないので、「いろいろな方向性を吸い上げる」という点から考えると、意見を聞いても良いと思う。
- 〈鈴木委員〉 私たちは、この協議会において話し合っていくことが役割であり、他の個々の団体（この協議会以外）がどう考えているのかまでまとめる立場になく、何も申し上げることはない。この協議会で協議する必要はないと考える。
- 〈大和久委員〉 自治会に所属している方であれば、その所属する自治会を通して意見をこの協議会に出していただければと思う。
- 〈安部会長〉 本来は自治会を通して出していただくのが筋だが、「千城台教育を考える会」の会員が所属している自治会に聞いたところ、意見は出てないとのことである。  
それでは、「千城台教育を考える会と会長との面談は行わず、意見がある場合は所属する自治会を通して意見を出してもらおう」ということで対応してよろしいか。
- 〈事務局〉 会長より対応について説明があったが、それでよろしいか。
- 〈一同〉 異議なし（了承）。

### （3）報告

#### 報告 前回の協議およびそれ以降の経過について

- 〈菅原議長〉 報告「前回の協議およびそれ以降の経過について」で、事務局に説明をお願いする。
- 〈事務局〉 では、前回協議と、それ以降の経過に分けて報告する。  
まず、「前回協議」についてであるが、既に議事要旨が確定されているので、簡単に確認する。資料1・資料2をご覧ください。
- ①前回協議会で協議された概要
- ・「現行学区」および「北4丁目と御成台地区を北小学校区とした場合」のシミュレーションのうち、「規模」と「学区の接続」の面から見て妥当と考えられるシミュレーションを抽出し、それについて意見を出す形で協議し、様々な意見が出された。
  - ・それを受けて、「本日の協議会において、小学校について適正配置（統合等）が必要であるかについて、協議会としての確認を行うこと」が確認された。  
これについては、このあとの【協議1】で取り上げる。
- ②前回協議会以降の動きについて
- ・協議会と並行して、引き続き「意見交換・説明会」を実施している。  
前回協議会后、奥田委員から「旭小保護者および地域住民への説明と意見交換」の機会をいただき、2月18日（土）に旭小学校において説明・意見交換会を実施した。
  - ・地元代表協議会日より第2号の配布については、次のとおり配布した。  
学校を通じて：千城台地区の小・中学校（7校）の児童生徒の保護者へ  
事務局から：へいわ幼稚園、のぞみ幼稚園、千城東幼稚園、東第一保育所  
東第二保育所、西保育所、公民館、コミュニティセンター  
市民センター、サポートセンター東分室  
安部会長から：連協会長の立場で、第24地区連内町内自治会長へ
- 〈菅原議長〉 事務局からの報告について、質問や意見があればお願いします。
- 〈一同〉 質問・意見なし

## (4) 協 議

### 議題 (1) 「千城台地区小学校の適正配置 (統合等) の必要性」について

- 〈菅原議長〉 まず、事務局から説明をお願いします。
- 〈事務局〉 前回協議会で様々な意見を出していただき、「次回協議会で小学校の適正配置 (統合等) の必要性について確認する」ということになった。
- それを受けて、各団体で話し合われたと思うので、その報告を含めて、このあと意見をいただきたい。
- その前に、委員から提示要望のあった資料について、資料3・4で説明する。
- ①「児童生徒の安全に関する対策」
- ②「統合に伴う学校経費に関すること」
- (例：真砂地区の統合の場合)
- ・市費人件費 (用務員・給食室等) : 4校合わせて約1800万削減
  - ・運営費 (光熱費・給食関係等) : 4校合わせて約1470万削減
- 〈菅原議長〉 事務局から説明があったが、質問があるか。
- 〈土屋委員〉 「スクールガードアドバイザー (統合校安全指導員)」は、どこから派遣されるのか。
- 〈事務局〉 市費で非常勤となる。1日4時間で年間180日、1年間の配置となる。
- 〈土屋委員〉 市が委嘱して頼むのか。
- 〈事務局〉 そのとおりである。
- 〈土屋委員〉 経費は4校合わせて、3300万円弱の削減ということだが、県費教職員にかかる経費も含めて、その削減分は何か运用到されるのか。
- 〈事務局〉 統合により統合前の2校の合計より少なくなった県費教職員の経費については、そのまま千葉市で何かに運用できるということではない。
- 〈菅原議長〉 資料については他に質問がないようなので、前回の協議会以降の各団体での話し合いの様子も含めて「小学校の適正配置は必要かどうか」についての各委員のご意見をお聞かせいただきたい。
- 〈高野委員〉 北小では、3月8日にPTA運営委員会理事会 (28名参加) があり報告した。
- 特段、意見はなかったが、1名の方から「統合になるのは仕方ないでしょうね」という感想があった。それが保護者の考えの象徴であると思う。次年度に入り4月20日に事務局 (企画課) に来てもらい、保護者向けの説明会を開く予定である。
- 〈大和久委員〉 2月25日に座談会形式で話し合った。結論的には、適正配置については「賛成」となった。ただし、魅力ある適正配置を進めることについては、前回協議会での報告と同様に「小中連携や9年間の系統的な教科指導、地域の高校や大学との交流」など、様々な取り組みを考えていただきたい。保護者からは「小規模校でも勉強についていけない子がいるが、統合して複数学級となり、先生方の負担が軽減されれば、逆に子どもたちに目が行き届く」という意見もあった。また、統合して経費が浮いた分、魅力ある学校づくりに使われると良いと思う。
- 〈佐々木委員〉 東小では、本部役員会において副会長から「全校にアンケートをとってみてはどうか」という意見が出た。これを受けて、本協議会として統一したアンケートを出せないかを事務局に相談したところ、「協議会に諮り、委員で検討・決定してからでないと出せない」ということだったため、アンケート等は特にとっていない。
- 本部役員会としては「賛成」という立場で、前に進んで具体的な協議に入ってほしいという考えである。

- 〈藤井委員〉 南小では独自のアンケートをとった。回収数56、そのうち賛成30、反対12、その他14となった。
- 賛成の意見としては「人数が増え友だちが多くなり、人間関係面において社会性が育ったり、競争する機会も増え、運動面も伸びたりする」などが挙げられた。反対意見としては、「通学距離が長くなり負担となる」という意見が多い。その他、「少人数なのに学力が低いのは恥ずかしい」等、いろいろな意見があった。
- 〈奥田委員〉 旭小では、1月30日に理事会があり、ホームページに掲載されている本協議会の資料と議事要旨を配布し、説明した。保護者の大半はあまり読んでいない状況のため、2月2日の懇談会で、「教育委員会を呼んで説明会を行う」ことを決め、案内した。
- 18日に説明会を実施し、保護者の参加は9名であった。2月27日の理事会でも聞いてみたが、「よくわからない」という人が多く、説明会に出た人は「よくわかった」と言っていた。また、適正配置が必要か、必要性を感じないかの意見を聞いたところ、多く人が「必要である」という意見だった。新年度（24年度）の1年生は30名で1学級の予定であり、コミュニケーション能力を伸ばすという意味合いからも「2学級以上の方が良い」という前向きな意見も多かった。
- 適正配置に関して「学区の見直し」をお願いしたい。町内ごとに学区を決めるのではなく、通学距離と安全面を考慮して、実態を把握しながら決めていただきたい。
- また、各団体で少しでも反対意見があった場合、だれがどのように説明して納得させるのかについても明確にしていきたい。
- 安全対策に関して「信号機の設置」についてであるが、前に警察に要望したところ、横断する人の数がある程度いないと設置できないと言われ、設置できなかった。横断する時の旗の設置さえもだめだった。そういう状況の中で、安全面の配慮が確実にできるのか不安がある。また、「セーフティウォッチャーの見守り」は地域や学校によって様々であり、事故や地震が起こった時、子どもたちの掌握や誘導等ができるかといえば、難しい状況であると思う。スクールガードアドバイザー等の説明があったが、安全確保についてはいろいろな対策をお願いしたい。
- 〈大澤委員〉 北小学校評議員会はこれから開かれる予定である。本日の協議会の内容を報告して意見を吸い上げたい。
- 〈石原委員〉 本日は方向性を決めることになっており、概ね「適正配置に賛成」の意見が多いと思う。卒業式にも参加してみて、ボリューム的に小さくなった感がある。私個人としては「適正配置に反対」であるが、魅力ある学校づくりができるのであれば、前向きに考えていきたい。もう少し協議会の開催を多くして協議のスピードを早く進めるとか、プロジェクトチームを作って協議会前に案を練ってから協議会を開くなど、工夫していくと良い。
- 〈鶴岡委員〉 様々な課題も出てきているが、子どもたちが通う場合には、融通の幅を広くしてあげて、融通性のある学区とすると良い。
- 〈中村委員〉 2月に、自治会での会議において前回協議会で出されたシミュレーションの資料を説明した。現在の児童数を見て「とても少ない」と驚いていた。意見としては、「統合すれば人数も増えて、教育条件も良くなる」「確かに1学年1学級は少なく、統合はやむを得ない」などの意見があった。
- 〈加瀬委員〉 「統合はすべきである」と思う。人・もの・金がウェイトを占める。千城台地区の小学校については、学校適正配置実施方針に拠ると5校を2校にする方向性が挙げられているが、統合によって削減された経費を子どもたちのために投入していくことにより、より良い教育環境となると考える。

安全対策として、セーフティウォッチャーの見守り活動とともに、子ども110番もある。掲示してあることが視覚的にも効果があるので、セーフティウォッチャーにも腕章等の目立つものを携帯させると良い。

〈谷野委員〉 旭小で行われた2月18日の説明会には所用で参加できなかった。

本日卒業式に参加させていただいた。40人程度で2学級であったが、やはり「1学級20人程度でも少ない」と感じた。学区外通学は申請すればだれでもできるのか。

〈奥田委員〉 学区外通学の申請をして断られた人もいると聞いている。

〈多田委員〉 南町自治会では、3月4日に役員改選を含めた新旧の班長会を行った。60人くらい集まった。年代的には、70代前後の方が多い。その中で、適正配置についての報告を行った。昔に比べて大変少ない児童数に驚いていた。25日には総会があるので、その際にも適正配置について取り上げたいと思う。個人的には「無理のない範囲で統合が行われるのは良い」と考える。

〈鈴木委員〉 「統合は必要である」と思う。変化という機会は大切であり、前向きに捉え、より良い方向に向かうよう考えていきたい。

〈土屋委員〉 先日、原宿の町を作ったという方の話を聞く機会があった。予算がないとか、現実的に無理であるとか言うのではなく、とりあえず要望を吸い上げて出していくことが大切であると言っていた。信号機を設置する、教員を増やすなど、まずは要望を出していくことだと思う。

私のところに来た生徒の話を聞いてみると、学年5～6学級程度の規模の大きい学校では荒れているようである。また、20人以下の学級では、比較的荒れているところが少ないようである。1学級の人数は少なく、複数学級の方が望ましい。統廃合と空いた施設の利用法を同時に決めた上で、この統廃合を進めていくことが良いと思う。

〈村田委員〉 南中評議員会は年2回の開催であり、次回に状況報告して、意見を吸い上げたい。シミュレーションも出ているので、問題点を丁寧に考えて進めていくことが大切である。最悪の場合、統合ができなくても仕方がない。

〈山崎副会長〉 南中区青少年育成委員会の理事会で随時報告をしているが、温度差が見られる。

保護者は適正配置に関心があるが、自治会の方は学校施設がどうなるのかが気になるようである。

「魅力ある学校づくり」は良いと思う。南中学校区は、小・中学校に近く10分以内で通学できる児童もいれば、30～40分をかけて登校する児童もいる。学区が大変広い。そういう意味でも、魅力ある適正配置を考えていくことが大切であると思う。

〈菅原議長〉 西中区青少年育成委員会の会長の立場で報告する。適正配置については理事会や役員会で報告しており、昨年総会時には事務局（企画課）を呼んで説明会を行った。個人的には「統合は良い」と思う。人数が増えるのは良い。

ずっと学校に関わってきて、最近は先生方の腕が落ちているのではないかと感じることもある。協議していく中で、そうした点も取り上げていければと思う。

〈事務局〉 学区について説明する。全国には学区制を採らない地域もあるが、千葉市では学区制を採っている。学区は「通学の安全性や負担」「地域との整合性」を考慮して設定している。例えば、青少年育成委員会をはじめとして、地域の様々な活動も中学校等を単位として実施されているところが多い。また、学校規模がアンバランスになる可能性もある。こうした理由から学区制となっており、学区外通学については、特別な理由がない限り認めていない。なお、千葉市には学区外通学承認地域がある。例えば、千城台地区に関わる場所では、本来は更科小学区である下田町や旦谷町、谷当町は、東小の学区外通学承認地域である。

※詳しくは、小・中学校の就学

(<http://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/gakuji/122nyugagu02.html>) を参照

〈事務局〉 前々回以降、「魅力ある適正配置」について話が出ている。

これは「子どもたちにとってのより良い教育環境を整える」こと、これがその基本となると考える。小規模校のメリットは今までの協議の中でもご指摘いただいております、事務局もその点は同感であるが、小規模が故に授業や行事等の教育活動においてさまざまな支障が出ている。これらを解消・軽減する意味からも「適切な学校規模とすることが大切である」と考える。

その上で、千城台地区で考えられる「魅力」とは何かを考えていくことが必要である。既に何人かの委員からも触れられているが、小中連携をはじめとした「連携」はその例であると考え。小中連携に加えて、高校が1校、大学2校があるという千城台地区の環境を生かした「高校や大学も含めた連携」も考えられるのではないかと。

実際に、西中は「職場体験」という形で、南小と旭小は「国際交流・理解をテーマにした総合的な学習の時間において、留学生を招く」という形で、東京情報大と交流を持っている。また、西中や北小においては「特別支援学級への支援」という形で植草学園大学と交流がある。また、昨年度は、「小学校の陸上大会の練習を支援する」という形で千城台高校陸上部との交流もあった。

前述の取組みや、現在、行われている交流の実態をベースに、「千城台地区の特色を生かしたさまざまな交流・連携をより進めていくこと」も「魅力ある」一例になっていくと考える。

〈菅原議長〉 委員から意見を出していただいた。安部会長から何かご意見はあるか。

〈安部会長〉 各委員からいろいろな意見を出していただいた。

その中で、信号機設置については所属の自治会から要望を出していただき、区連協を通して所管に要望を挙げることも考えられることを付け加えておく。

それでは、出されたご意見を踏まえて、地元協議会としては小学校について「適正配置の必要性がある」「適正配置の必要性はない」「本日の現時点では、どちらとも確認できない」のいずれかを確認することとしたいと思う。いかがか。

〈菅原議長〉 安部会長から提案があったが、よろしいか。

〈一同〉 異議なし（了承）。

〈菅原議長〉 それでは、確認したいので、「適正配置の必要性がある」と思う委員は挙手をお願いしたい。よろしいか。

〈一同〉 了解。（\*出席者18名中、16名が「適正配置の必要性がある」に挙手）

〈菅原議長〉 賛成多数により、協議会として「小学校の適正配置については必要である」と合意する。よろしいか。

〈一同〉 異議なし（了承）

## 議題（２）今後の協議について

〈菅原議長〉 「今後の協議」について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 今、小学校の適正配置（統合等）の必要性について確認された。今後の協議についてご意見をいただく前に、２点の説明をしておきたい。

### ①スケジュールに関すること

- ・十分な交流期間と準備を取ることで、必要な予算要望を行うこと、改修等を考えると実際に統合校が開校されるのは、これからの話し合いにおいて具体的に「統合の合意」がなされてから１年半後になる。

### ②これからの協議の順序と内容に関すること

以下のいずれかが考えられる。

- ・このまま、小学校についての協議を続ける。  
その場合には「統合の組み合わせ・統合の時期・統合の場所」を協議する。
- ・小学校の協議は一旦置いておき、中学校の適正配置（統合等）の必要性について協議する。

この協議では、単に統合するかどうかだけでなく、意見として出されてきている「中学校区のねじれをどうするか」についても含まれる。

中学校について協議していく際は、小学校の時と同様、委員から必要と思われる資料を挙げてもらい、それを提示して協議を行い、最終的に「中学校の適正配置（統合等）の必要性」について確認していくこととなる。

### ③その他

中学校の適正配置に関してはまだ協議されていないので、あくまでも参考としてお聞きいただきたい。

中学校を統合した真砂地区では、中学校の統合を検討する場合、統合時期については子どもへの影響を考慮し「小学校在学中・中学校在学中の両方で統合を経験させない」ことを前提に協議が行われた。具体的には、中学校の統合の時期としては「小学校より先に中学校を統合する。」「小学校と同じ年度に中学校を統合する。」「小学校の統合の１年後に中学校を統合する（小６になるときに小学校統合になった児童が、次年度に中学校へ入学する際は「統合された新設校」である）。」というパターンが考えられる。

〈菅原議長〉 事務局から説明があったが、質問を含めて意見があるか。

〈石原委員〉 小学校については賛成としたが、中学校について考えるレベルにはまだ至っていないと思う。このまま小学校について具体的な協議を行う中で、中学校も考えていけば良いと考える。

〈藤井委員〉 協議するのにかなり長い時間をかけ過ぎている。他地域に比べて、千城台地区は長いと思う。まずは、小学校について話し合って中学校に入った方が良い。足場をしっかり作って、中学校の協議に入った方が良いと考える。

〈佐々木委員〉 時間がかかり過ぎているとあったが、私としてはもっと話し合っても良いと思う。もう少し議論を十分に行い、その中で決めていけば良い。

〈鈴木委員〉 小学校については見えているが、中学校についても規模は減っていくのは間違いない。緊急性はどうか。

〈事務局〉 中学校の生徒推計では、西中は現在９クラスであり、２９年度もクラス数は変わらないが、生徒数は５０人程度減ると見込まれる。南中は現在１１クラスで、２９年度には９クラスとなり、生徒数は１００人程度減ると思われる。ちなみに中学校を統合



した場合の規模は、29年度で15クラスとなる見込みである。

- 〈加瀬委員〉 自治会は自治会として、話し合うと良いのではないか。
- 〈安部会長〉 地区連の会議においても、適正配置の協議の場を設けることはできると考える。
- 〈事務局〉 「中学校も公共施設である」との視点で考えると、その際には、防災面を含めた「地域の拠点としてのバランス」も考えていくことになると思う。小学校の場所をどうするかを検討する際に、中学校の配置（位置）も重要になってくる。
- 〈安部会長〉 小学校の協議をこのまま続けていくという意見が多い。中学校については、付帯的に協議していくことで良いと考えるが、いかがか。
- 〈土屋委員〉 中学校もリンクするので、その都度、一緒に考えていけば良いと思う。
- 〈事務局〉 「小学校の協議をこのまま進めていくが、中学校についてもその都度考えていくこと」と確認してよろしいか。
- 〈一同〉 異議なし（了承）。

### **議題（3）次回協議会について**

- 〈菅原議長〉 「次回協議会」について、事務局からの提案をお願いします。
- 〈事務局〉 次回協議会の時期については、学校や育成委員会・自治会等での役員改選が終了した後ということになるので、6月の開催としたい。日時や内容等、開催の詳しいことは会長・副会長と相談のうえ、4月以降に改めて通知させていただく。
- 〈菅原議長〉 事務局から考えが示されたが、意見があればお願いします。
- 〈一同〉 異議なし（了承）。
- 〈菅原議長〉 では、次回協議会は6月開催とし、詳しいことは、会長・副会長と相談のうえで4月以降に改めて通知するという確認する。

### **（5）連絡**

- ・ 次回協議会は6月開催とし、会長・副会長と相談のうえ、4月以降に各委員に連絡する。
- ・ 本日の議事要旨（案）を作成し、委員の方々に郵送し確認していただく。期日までに回答がない場合は「修正なし」とさせていただく。  
委員の確認終了後、修正・確定した議事要旨を、教育委員会ホームページで公開する。
- ・ 本日の協議内容については、各組織の方々にもお知らせいただきたい。
- ・ 役員改選等で委員が交代する場合は、引き継ぎを確実に行っていただきたい。

### **（6）教育委員会挨拶（高須企画課長）**

委員の皆様の今年度1年間の真摯なご協議に対し、教育委員会を代表してお礼を申し上げます。特に、安部会長、菅原副会長、山崎副会長には、会の運営をはじめ大変お骨折りをいただいた。

また、各委員におかれては、毎回、各団体に協議内容を持ち帰って報告と意見集約を行うとともに、協議会では代表として発言していただき、様々な角度から議論をしていただいた。

本日の協議会で「小学校の適正配置が必要であること」が確認され、来年度も引き続き、小学校について協議いただくことになった。今後も、千城台地区の子どもたちの教育環境の整備と教育の質の充実を図るため、ご助力いただきたい。

### **（7）会長挨拶（安部会長）**

協議会委員の方々の真摯な協議に感謝する。来年度もご協力をお願いしたい。

役員改選等もあるかと思うが、交代する場合には引き継ぎをしっかりとお願いしたい。